

教科等研究会 中学校技術・家庭（家庭分野）令和4年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

「学びを生かし、豊かな人生を育む技術・家庭科教育」  
 ～生活での気づき・発見が喜びに変わる「分かる・楽しい」授業づくりを通して～

2 研究経過

第1回			第2回			第3回 (小中合同)			第4回		
期日	人数	場所	期日	人数	場所	期日	人数	場所	期日	人数	場所
6/14	5人	嘉島中	8/10	4人	甲佐中	11/1	5人	甲佐中	2/2		嘉島中

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 授業力向上を目的とした研究授業の実施

本会では全員が免許外指導者という状況であり、各学校における指導の充実を図るためには何が必要だろうかということを考え、まず各担当者が疑問に思っていることや困っていることを事前に調査した。そして、授業を通して生徒に家庭分野の授業の重要性や必要性を感じさせたいと考えた。また、生活に生かせる力を養うために指導者の授業力の向上が一番重要であると考え、研究授業を行うこととした。なお、小学校家庭科部会と合同での授業研究会を行った。このことにより小学校の実践から学び、中学校の授業実践の更なる充実を図った。

ア 研究授業（11月1日 場所：甲佐中学校）

「さまざまな食品とその選択」における「分かる・楽しい」授業の提案  
 授業者：甲佐中学校 片岡 佳奈子 教諭



写真1 様々な視点で考えられる資料



写真2 個人の意見を出し合い、練り上げる様子

(ア) 自評及び意見・感想

- めあてにもあるが、「目的に応じて」というところをどうするかを悩んだ。自分自身色々考えたが、これでいいのかという迷いがある。また、授業のまとめもどうしていいかを普段から悩んでいる。ぜひこういった点について意見を聞かせてほしい。（自評）
- 日常からタブレット端末を使っている様子がわかった。自分で写真を撮って、教師に提出をするなどの経験もさせてあり、ICTの活用がとても良かった。
- 子ども達の実態として、自分で食品を選ぶ経験をしている子が少ないので、事前選択肢を提示しておき、家族と相談して考えさせる展開でも良かったと思う。
- 目的意識をはっきりさせることは大事であると思った。「毎日の給食で」なのか「アレルギーを持った生徒がいる家庭で」なのかによって選ぶものは変わってくる。事前にそれをはっきりさせておいて考えさせた方が良かった。最後に、状況が変われば選ぶものも変わってくるというまとめ方がわかりやすいと思う。
- 「自分の家庭だったらどれを選ぶか？」という迫り方も面白いと思う。この教科は、自分の生活を見つめさせる必要がある。すると、「なぜその食品を選んだのか」を語らせることで、状況によって選ぶものが変わるというまとめにも繋がると思う。

② 内容B「衣食住の生活」における実技研修の実施

ミシンの糸の準備や扱う際の注意点について、ジャンメシンの内田様を講師に迎え、実習を行った。また、益城中の甲斐講師より、基礎縫いの教材の紹介と製作実習を行った。



写真3 ミシンの準備について説明を聞く

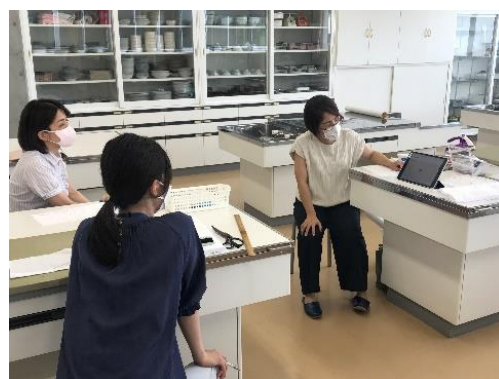


写真4 基礎縫いのやり方を動画で確認する

(2) 成果と課題 (○：成果 ●：課題)

① 授業力向上を目的とした研究授業の実施

- 授業研究会を通してお互いの実践を深めることができた。また、会員が授業を行う上での悩みや工夫点についても情報を交換することができ、大変有意義であった。
- 小学校との合同の授業研究会では、小学校家庭科の視点からも意見交換ができた。小中で共に学ぶことであってもその学習の方法や形態、めあてが違うことが分かり、児童生徒の発達段階に合わせて学習方法を検討することの大切さを学ぶことができた。また、共通していることは、視覚的な情報を与えることは重要だが、与えすぎると子どもたちの考える機会を奪うことになっていくことが分かった。
- ICTを効果的に活用することで、子どもたちが主体的に学ぶことができる工夫がされていた。導入されたタブレット端末の利点をしっかり把握し、利活用されていた。自分の学校と環境が異なってもその発想やアイデアを持ち帰り実践につなげることができる。
- 免許外指導者で構成されている部会のため、自分自身の授業実践で大丈夫なのかが不安である。お互いに授業を見合う中で意見を交換し、学んだことを自分の実践に生かしていることが最大の成果である。
- 小中共に部会員が少なく、授業者の選定に苦慮している。今後も特定の会員に偏ることなく、より多くの会員が授業を行い、幅広く研修を行えるようにしていかなければならない。

② 内容B「衣食住の生活」における実技研修の実施

- ミシンの基本的な使い方について、専門家の方に丁寧に教えて頂きとても良かった。また、ミシンが壊れたり調子が悪いときの対処法についても触れて頂き、原因と解決方法をしっかりと学ぶことができて良かった。
- 基礎縫いの教材は、市販されている教材を使っていたが、高額なため困っていた。今回の教材は安く準備も大変ではないので、早速来年度から使っていきたいと思う。
- とても有意義な研修であるが、参加者が少ないのが残念であった。免許外指導者の指導力向上のためにも、来年度も各学校1名の参加を呼びかけていきたい。

4 実践事例

(1) 学習構想案抜粋 (甲佐中 片岡教諭)

4 本時の学習

(1) 目標

○加工食品の表示を理解する。

○食品の選択に必要な情報を収集・整理し、用途に応じた選択について考える。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習の目的・意図、内容、方法等)
導入	5	1 前時までの学習を振り返る。 ・さまざまな加工方法 ・加工の目的	○加工食品の特徴を振り返る。 ○食品の保存性を高める、おいしくする、調理の手間を省くなどの目的で加工されていることを確認する。
		【めあて】食品の表示をもとに、目的に合わせて食品を選ぶことができる。	
展開	5	2 加工食品の表示を見て、どのような情報が表示されているか確認する。 ◇前回学習した賞味期限があるぞ ◇内容量、保存方法、栄養成分表示、原材料名、製造者、食物アレルギー、遺伝子組み換え食品、食品のマーク	○食品のパッケージを電子黒板に映し出し、表示の内容を確認する。 ○原材料名は使用量が多い順に表示されていることや食品添加物、アレルギーなどの表示があることを確認する。
	5	3 表示を読み取り、夕食のサラダに添えるハムを選ぶ。 ○個人で選ぶ	○まずは個人で選択し、その後班で気づいたことを出し合ったうえでもう一度選択することで、自分の判断方法を振り返り、より表示を理解した上で選択できるようにする。
	15	4 班で情報を整理、気づいたことを出し合う。 ◇食品添加物、アレルギー表示、マークの表示などそれぞれ違うな。  【期待される学び姿】 ○自分の考えを持ち、他者と考えを共有したり情報を整理したりしながら深めている姿。  【シンキング・アクションタイム】	○食品添加物には緑ラインを引く、注目した表示には赤で印をつけるなどして情報を整理する。  【具体の評価基準】 思考・判断・表現 加工食品の表示から情報を読み取り、目的に応じて選択し、理由を書いたり述べてりしている。  (方法：ワークシート、観察)
	10	5 読み取った情報を踏まえて選ぶ。 ○表示で注目したところとその理由	【到達していない生徒への手立て】 ・基幹指導を行い、注目した情報にしるしをつけるよう促すなど個別の支援を行う。
終末	5	6 本時のまとめをする。  【まとめ】食品を選ぶときは、目的や栄養、価格、安全性、環境への影響などに注目し、目的に応じて選ぶ。  【チャレンジタイム】	

## 加工食品の選択 教科書p100～

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 名前 ( )

【めあて】

①夕飯のサラダにそえるハムを購入することになりました。あなたならどれを選びますか。  
ロイロノート資料、A～Cの中から選びましょう。

選んだもの：( )

理由：

②班になり、情報を整理しよう。

- ・ 食品添加物・・・みどりのマジックで線を引こう。  
原材料名表示の「/」のあとが食品添加物である。
- ・ 注目したところ・・・あかのマジックで線を引いたり印を付けたりしよう。
- ・ 気づいたことを書き込もう。

③整理した情報をもとに、購入するハムを選ぼう。

選んだもの：( )

理由：

【まとめ】

### <食品選択のポイント>

食品を選ぶときは、

などに注目し、目的に応じて選ぶ。